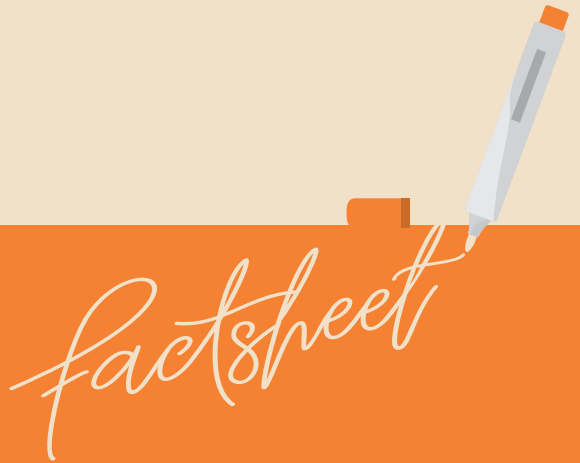


U = U

HIV Undetectable = Untransmittable

Q&A ファクトシート

Undetectable = Untransmittable Q&A factsheet



iBaseのU=Uのパンフレットを紹介するにあたって

この冊子は、2018年にイギリスで
HIV陽性者や治療活動家によってつくられた、
U=UについてのQ&A集です。

近年、日本でもU=Uの情報が多く見られるようになりました。

U=Uが明らかにするHIV陽性者の人権や包括的な性の健康の促進の課題について、予防啓発活動に取り組んできたaktaから発信していく意味やその伝え方を検討してきました。

コミュニティへの情報発信では、U=Uの重要性への強い同意や関心がある一方、「相手が本当にそうかを知るためには、どのようなコミュニケーションをしたら良いか?」、「ナマでやっても大丈夫と思っている人が多い」などの声もよせられました。U=Uの正しい理解を広げることの必要性や、従来の予防啓発の取り組みとの整理などの課題もみつかりました。

本パンフレットの紹介にあたり、イギリスではどのように発信されているのかを理解し、今後HIV陽性者、コミュニティ、NPO・NGO、専門家などとさらにコミュニケーションしながら、取り組みを深めるきっかけとなることを目的としています。

コミュニティセンター akta

U = U

血中のHIVのウイルス量が検出限界未満
= セックスの相手に感染しない

抗HIV治療を受けていて、HIVのウイルス量の数値が検出限界未満なら、感染しないということを知っていましたか？

抗HIV治療はあなた自身の健康だけでなく、あなたのパートナーも守ります。U=Uは、「HIVの感染予防だけの目的とするコンドームであれば使う必要はない」という意味になります。

UK(イギリス)のHIVの第一人者の医師や研究者はU=Uの研究結果を強く支持しています。

「血液中のHIVのウイルス量が持続的に検出限界未満を維持している人は、パートナーに感染させることはない」ことは疑う余地がない。

英国HIV学会(BHIVA)代表のクロエ・オーキン教授が明言しています。

イギリスのガイドラインでは、HIV診察医師は、全ての患者に対して抗HIV治療の感染抑止効果を伝えるようにと明言しています。

Q1 U=Uとは?

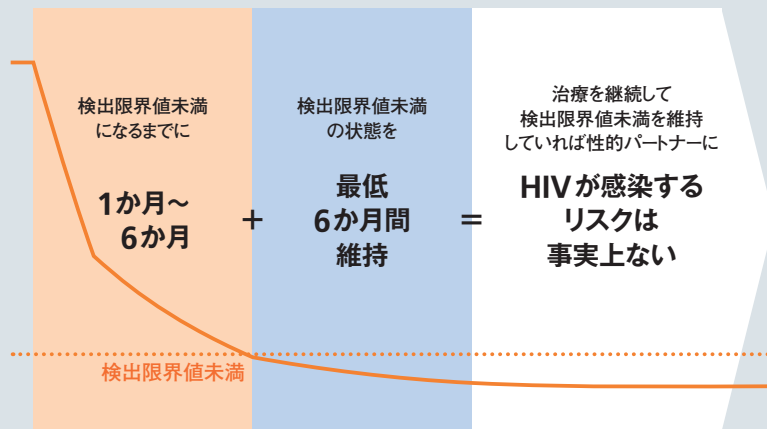
A U=Uとは、Undetectable = Untransmittable (HIV検出限界未満は感染しない)の略称です。

U=Uは、抗HIV治療でHIVのウイルス量が検出限界未満の人は、コンドームやPrEPなしでセックスしてもHIVの感染をさせない、という意味です。

Q2 U=Uは何が必要なの?

A 抗HIV治療による予防効果は次の事がポイントです。

- 抗HIV治療を毎日行っていること
- HIV検出限界未満の状態が最低6か月続いていること



毎日かささず処方通りに内服する

図:「National Institutes of Allergy and Infectious Diseases」より引用・改変

* 10 Things to Know About HIV Suppression. NIAID Now / November 14, 2017.
<https://www.niaid.nih.gov/news-events/10-things-know-about-hiv-suppression>
(2019年5月1日アクセス).



Q3 U=Uの状態がどうしてリスクゼロと言えるのか?

A 端的に答えると、HIVのウイルス量が検出限界未満ということは、セックスの体液(精液、膣分泌液など)の中のウイルスが少なすぎて感染が起こらないということです。

セックスを感染経路としたどんなリスクも、ウイルスの量に関連があるので、HIVの検出限界未満は、リスクをゼロにします。

Q4 どんなHIV治療薬でもU=Uになるのか?

A 答えはYESです。どの抗HIV治療でも検出限界未満まで数値を落とせば、U=Uになるということです。

Q5 誰にでもU=Uは当てはまるのか?

A 答えはYESです。「パートナー研究(PARTNER study)」でゲイカップルやヘテロカップルでも効果が証明されています。

ヘテロカップルでは、男性が陽性者の場合と、女性が陽性者の場合の両方のデータを取りました。

Q6 U=Uはどんなセックスにも当てはまるのか？

A YES。「パートナー研究」は様々なセックスを行ったカップルのデータを集めました。オーラル、膣、またはアナルセックスなど。また、陰性パートナーがタチなのかウケなのかの体位、射精したかどうかのデータも収集しました。

「パートナー研究」は、全てのセックスのシチュエーションに対し、HIV感染は起こらなかったという結果を報告しました。

Q7 ということは、コンドームを使う必要が無いって事でしょうか？

A コンドームを使うかどうかは個人の選択になりますし、また、パートナーとの合意の上での判断です。

コンドームは多くの性感染症のリスクを下げ、効果的な避妊方法の1つです。

しかし、もしコンドーム使用がHIV感染だけが心配なのであれば、U=Uの面から答えると、コンドームを使い続けなければならない理由はないでしょう。



Q8 U=Uの状態でも、パートナーが引き続きコンドームを使いたがっているんですが

A あなたのパートナーが陽性でも陰性でも、自身にとって何が正しいか決めなければなりません。

もしかしたら、なにか他の理由でコンドームを使いたいかもしれません。あるいは、まだ、HIV感染について不安に思っているのかもしれません。

特にコンドームを長年使っている人にとっては、新しいエビデンスを受け入れるのに時間がかかる人もいます。

[訳注] aktaはコンドームを使用しないことを推奨しているわけではありません。Q7の通り、U=Uでも性感染症の予防のためにコンドームは重要です。また、自分の選択を強要することなく、セックスの相手との合意が重要だと考えます。



Q9 性感染症はU=Uに影響を与える？

A 「パートナー研究」によると、U=Uは、パートナーの片方もしくは両方が性感染症にかかっている場合でも有効であるといわれています。

定期的に性感染症検査を受けて治療することは重要ですが、性感染症にかかっていたとしても、U=Uの効果に影響を及ぼすことは考えにくいです。

Q10 U=Uは広く受け入れられている？

A YES。多くのHIV分野の第一人者の研究者、医師はU=Uに同意しています。

英国HIV学会(BHIVA)や、国際エイズ学会(IAS)、アメリカ疾病予防管理センター(CDC)も賛同しています。

Q11 私の担当医はU=Uの事を知ってるだろうか？

A YESである事を願っています。(イギリスでは)U=Uは、ここ2年間ほどヘッドラインニュースとしての扱いになっています。

英国HIV学会の「HIV陽性者のケア基準(2018)」に追加されました。

もしあなたの担当医からU=Uについての説明がない場合は、あなたの方から聞いてみてください。

Q12 検出限界未満の期間はどれくらい必要？

A 検出限界未満が6ヶ月持続した後から、U=Uによる100パーセントの予防効果をあてにすることをガイドラインは勧めています。

これがガイドラインで「抗HIV治療で安定していること」にふれている理由です。

Q13 薬の服用を忘れてしまったらどうなる？

A 1回の服用忘れでは、U=Uでなくなるわけではありません。

でも、2、3日服用しなかった場合は、ウイルスが検出される可能性は十分にあります。やはり毎日の服薬がU=Uにはきわめて重要です。

Q14 ウイルス量のブリップについてはどうですか？

A たまに、HIVウイルス検査数値が50ほど急上昇することがあります。

「パートナー研究」では、200コピー/ml未満の数値であれば影響なしという結果でした。
※ブリップ…一時的にウイルス量が増加する現象。

Q15 U=Uがそんなに有効であるとどうしてわかるの？

A 20年以上の間、抗HIV治療がすべての感染のリスクを下げることを研究者は知っていました。しかし、リスクがゼロである事実が証明されたのはごく最近です。

「パートナー研究」において、抗HIV治療を行っている陽性者と陰性者のカップルを対象にしています。陽性者は抗HIV治療でHIVのウイルス量が検出限界未満で、陰性のパートナーとコンドームを使わないセックスを行いました。

第1「パートナー研究(ゲイとヘテロカップルの両方)」では、コンドームを使用しないセックスが58,000回以上カウントされました。

第2「パートナー研究」では、ゲイカップルだけを対象とし、コンドームを使わないセックスが77,000回以上カウントされました。

結果は、どちらの研究もウイルス量が抑えられている陽性者パートナーからのHIVの感染は確認されませんでした。

他の研究では、Rakai研究やHPTN 052、Opposite Attract研究、また2008年に初めてリスクがゼロであることについて発表された「スイステートメント」があります。

これらの研究結果は、オンライン文献で確認することができます。

U=Uの確証：「無視できるリスク」はなぜ「ゼロリスク」なのか
www.i-base.info/htb/32308



Q16 U=Uは授乳にもいえるのか？

A 抗HIV治療による検出限界未満は母乳によるHIVの感染のリスクを下げますが、リスクはゼロではありません。

母親が検出限界未満であっても、母乳によって赤ちゃんにHIV感染が認められたケースが報告されています。

その他の詳細情報

国際U=Uキャンペーンは、「血中のウイルス量が検出限界未満の抗HIV治療を行っているHIV陽性者はHIVの性感染リスクがゼロ」ということの認知を上げることを目的としています。

現在、90か国以上からの720を超える団体が参加しています。

www.preventionaccess.org

i-Baseには、U=Uについてのさらに多くの詳細情報があり、このシートの詳細版も用意しています。

www.i-base.info/u-equals-u



i-Baseとは

HIV i-Baseは、ロンドンのAIDS Treatment Projectの、以前の出版・編集・ミーティングチームによって2000年4月に結成された慈善団体です。

i-Baseは治療活動家のグループです。HIV陽性者や医療従事者に、HIV治療に関するタイムリーで最新の情報を提供することに尽力しています。

この活動は、専門的・非専門的な出版物(すべてオンラインでも入手可能で、多くは他の言語でも入手可能)やQ&Aサービス(電話、電子メール、オンライン)を含みます。また私達は、英国の850人以上の活動家からなるこのネットワークを支援する、UK-CAB運営グループと協力しています。

すべての資料は、HIV陽性者によって、またHIV陽性者の関与のもとに作成され、医療アドバイザリーグループによって確認されています。

治療ガイドやウェブサイトを含むすべての資料は、医療専門家とHIVとともに生きる人々の両方によって確認作業がされています。医療相談員は、それぞれの出版物に別々に記載されています。

私たちはすべてのHIV陽性者が、治療についての決定を含め、自分が望むように自分自身のケアに積極的に関わられるべきだと確信しています。



i-base



akta U=U

<https://akta.jp/uu2020/>

U=U 関連のお役立ちリンク集も充実

U = U

Undetectable = Untransmittable Q&A factsheet

Produced by i-Base for Kobler@CWH

U=U Q&A ファクトシート

2021年3月発行

翻訳・制作・編集・発行：akta 医療監訳：四本美保子(東京医科大学病院)

デザイン：加納啓善 image：Freepik.com

問い合わせ：community center akta [E-mail] info@akta.jp [TEL] 03-3226-8998

この冊子は、2020年度厚生労働省委託事業

「同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報等一式」で作成されました。

※無断コピー・転載お断り